

当院で維持透析を実施された患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究のために過去の記録が用いられることについて患者さんもしくは患者さんのご家族等の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、[お問い合わせ]までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

また、この研究については、KKR 高松病院治験審査委員会の審議にもとづき病院長の許可を得ています。

[研究課題名] 透析中の脱血評価におけるエアレスモニタの有用性の検討

[研究機関] KKR高松病院（病院長：森 由弘）

[研究責任者] 血液浄化センター 臨床工学科 平井沙季

[研究の目的] 透析中に血液の流れに異常がないかを確認するための補助回路であるエアレスモニタが、有用であるかを過去のデータから検討します。

※エアレスモニタは、血液を流すまっすぐな管と、一つの枕のように膨らんだ部分(エアレスチャンバ)でできしており、膨らんだ部分の血液のたまり具合(圧)で透析中の血液の流れや量に異常がないかを確認します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2023年9月8日～2023年10月27日の期間に当院で維持透析を実施された患者さん

●利用するカルテ情報（2023年9月8日～2023年10月27日の下記の情報を利用します。）

性別、年齢、透析歴、透析時の設定血流量を変更した時の以下の4項目を利用する。

- ①エアレスモニタに接続した圧力計の値
- ②エアレスチャンバ内の血液量の減少率
- ③血液回路内の逆流の有無
- ④血液ポンプで設定した血液流量と実際に流れている血液流量の差

※エアレスチャンバ：枕のような形状で、血液の圧を測定するための圧力計が取付られる。

[研究期間]

病院長の許可日～2026年3月31日（利用を開始日：2025年1月19日）

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。本研究に関する試料・情報は研究責任者により適切に管理・保管されます。

[問い合わせ先]

高松市天神前4番18号

KKR高松病院血液浄化センター 担当 平井沙季

電話 087-861-3261(代) FAX 087-834-0199